

第1章：主要疾患別患者数推定

〔厚労省患者調査をはじめ、糖尿病実態調査、循環器疾患調査、国民生活基礎調査、各種疫学情報を合わせて患者数情報を整理分析〕

1.糖尿病

- (1)受療者数
1日間受療者数
i)主傷病 ア)患者調査(推計患者数)
受療中受療者数
i)主傷病 ア)患者調査(総患者数)
イ)国民生活基礎調査(通院者数)
総傷病(主傷病+副傷病)
ア)国民生活基礎調査(総傷病数)
月間受療者数
i)月間受療者数
ア)社会医療診療行為別調査
その他の厚生統計
i)糖尿病実態調査(2002年)
ii)第5次循環器疾患基礎調査(2000年)
iii)国民健康・栄養調査
- (2)有病者数
主な指標
i)糖尿病実態調査
その他の厚生統計
i)糖尿病実態調査
ii)第5次循環器疾患基礎調査
iii)国民健康・栄養調査
疫学情報
- (3)死亡者
死亡者数)人口動態統計
- (4)医療費
国民医療費
〔受療者数は96年 02年の患者調査で減少傾向だが、主傷病と副傷病名を加えると増加傾向。通院患者数は15年間で約2.5倍増。有病者数は5年間で1.18倍。予備群のみではやや女性多い。〕

2.高脂血症

- (1)受療者数
1日間受療者数
i)主傷病 ア)患者調査(推計患者数)
受療中受療者数
i)主傷病 ア)患者調査(総患者数)
イ)国民生活基礎調査(通院者数)
総傷病(主傷病+副傷病)
ア)国民生活基礎調査(総傷病数)
その他の厚生統計
i)第5次循環器疾患基礎調査
ii)国民健康・栄養調査
- (2)有病者数
主な指標
i)第5次循環器疾患基礎調査
その他の厚生統計
i)第5次循環器疾患基礎調査
ii)国民健康・栄養調査
疫学情報
〔外来受療者数は6年間で1.3倍増。女性は男性の2.7倍。有病者数は約3,000万人推定。受療者数から逆転して、有病者数では男性がやや多い。〕

序章：生活習慣病市場構造研究

～メタボリックシンドロームを機軸に市場を見る～

3.高血圧症

- (1)受療者数
1日間受療者数
i)主傷病 ア)患者調査(推計患者数)
受療中受療者数
i)主傷病 ア)患者調査(総患者数)
イ)国民生活基礎調査(通院者数)
総傷病(主傷病+副傷病)
ア)国民生活基礎調査(総傷病数)
月間受療者数
i)月間受療者数
ア)社会医療診療行為別調査
その他の厚生統計
i)第5次循環器疾患基礎調査(2000年)
ii)国民健康・栄養調査
- (2)有病者数
主な指標)第5次循環器疾患基礎調査
その他の厚生統計
i)第5次循環器疾患基礎調査
ii)国民健康・栄養調査
疫学情報
- (3)死亡者
死亡者数)人口動態統計
- (4)医療費
国民医療費
〔患者調査の受療者数は96年 02年で減少傾向。糖尿病と同様、主傷病名のみで、副傷病や合併症が含まれていないため。有病者数、有病約3,000万人、予備群2,000万人、計5,000万人。〕

4.脳卒中

- (1)受療者数
1日間受療者数
i)主傷病 ア)患者調査(推計患者数)
受療中受療者数
i)主傷病 ア)患者調査(総患者数)
イ)国民生活基礎調査(通院者数)
総傷病(主傷病+副傷病)
ア)国民生活基礎調査(総傷病数)
月間受療者数
i)月間受療者数
ア)社会医療診療行為別調査
その他の厚生統計
i)糖尿病実態調査
ii)第5次循環器疾患基礎調査
iii)国民健康・栄養調査
- (2)有病者数
疫学情報
- (3)死亡者
死亡者数)人口動態統計
- (4)医療費
国民医療費
〔受療者数は90年代は増加、2000年代に入り横ばい傾向。〕

5.虚血性心疾患

- (1)受療者数
1日間受療者数
i)主傷病 ア)患者調査(推計患者数)
受療中受療者数
i)主傷病 ア)患者調査(総患者数)
イ)国民生活基礎調査
総傷病(主傷病+副傷病)
ア)国民生活基礎調査(総傷病数)
月間受療者数
i)月間受療者数
ア)社会医療診療行為別調査
その他の厚生統計
i)糖尿病実態調査(2002年)
ii)第5次循環器疾患基礎調査(2000年)
iii)国民健康・栄養調査
疫学情報
- (2)死亡者
死亡者数)人口動態統計
- (3)医療費
国民医療費
〔受療者数は、15年間で約1.8倍増。男性が多く、差は拡大傾向。〕

6.メタボリックシンドローム

- (1)有病者数
主な指標)国民健康・栄養調査
その他の厚生統計
i)糖尿病実態調査(2002年)
ii)国民健康・栄養調査
疫学情報
〔有病率は加齢に伴い増加の傾向。特に50代と60代で倍以上の開き。〕

7.肥満

- (1)受療者数
1日間受療者数
i)主傷病 ア)患者調査(推計患者数)
受療中受療者数
i)主傷病 ア)患者調査(総患者数)
イ)国民生活基礎調査
総傷病(主傷病+副傷病)
ア)国民生活基礎調査(総傷病数)
その他の厚生統計
i)糖尿病実態調査(2002年)
ii)第5次循環器疾患基礎調査
iii)国民健康・栄養調査
疫学情報
〔受療者数は女性が男性の1.5倍。〕

第2章：分野別市場動向と企業分析

- 1.分野別医薬品食品市場動向
・高脂血症治療薬市場
〔高脂血症市場は3,000億円で横ばい推移。レギュラースタチンからストロングスタチンへのシフトが進む。今後はクレステールの本格販売が市場をどうかえるか。〕
・高血圧治療薬市場
〔降圧剤はARB主流。プロプレス、ディオバンの続伸をミカルディス、オルメテックが追撃。今後は適応追加や配合剤が勝負か。〕
・糖尿病治療薬市場
〔糖尿病はベイスン、アクトスで武田の天下も、市場成長の余地はまだ残る。〕
・健康食品市場
〔特定保健用食品(トクホ)市場は整腸系が微増・安定の中、トレンドはコレステロール、血圧、中性脂肪などメタボリックシンドローム関連へシフト。〕
・健康食品関連企業要覧
・特定保健用食品一覧
- 2.新たな生活習慣病ビジネス市場
・保健指導アウトソーシングビジネス
〔平成20年4月の保険者特定健診・保健指導義務化に伴いアウトソーシングビジネスが萌芽。新たな市場はどうか。〕
・メタボリックシンドロームと疾病管理
〔わが国ではまだ試行段階の疾病管理ビジネス。米国におけるディーズマネジメントの事例分析から、わが国の今後をDr武藤が解説〕
・千葉県山武医療圏における糖尿病地域包括ケアシステム
〔千葉県立東金病院を中核とした山武医療圏における、病院専門医と診療所一般医との連携による糖尿病外来診療の役割分担をはじめとした地域糖尿病包括ケアシステムの実態をレポート〕

第3章：中国における疾患別患者数と市場の動向

- 1.中国主要疾患別患者数
糖尿病、高血圧症、高脂血症、脳卒中、虚血性心疾患、肥満症
- 2.中国の生活習慣病関連医薬品市場
糖尿病、高血圧症、心血管疾患
- 3.中国の医薬品、保健品主要企業要覧
〔経済化の進展と共に一挙に拡大する中国の生活習慣病人口。この巨大市場における患者数や医薬品市場について、当研究所中国スタッフによる情報収集・分析により未邦訳の情報を提供〕

巻末参考資料

〔ご注文お問い合わせ先窓口〕
株式会社 デルタアイディ総合研究所
カスタマーセンター
TEL 03-3580-3976 FAX 03-3580-3977